

[参考事項]

新技術名：秋田県に適したラズベリー4品種（平成23～26年）

研究機関名 果樹試験場品種開発部
担当者 照井 真

[要約] 本県に適応性が高いラズベリーの優良品種として、夏果用品種では「ヒンボートップ」、「スキーナトップ」および「チルコチン」の3品種、秋果用品種では「ヒンボートップ」、「ヘリテージ」の2品種を選抜した。

[対象範囲]

県内ラズベリー産地（約2ha）および新規生産者

[ねらい]

ラズベリーは、栽培管理が比較的容易で、かつ高単価が期待できる果樹として県内での栽培面積が増加している。

しかし、品種特性に関する情報は乏しく、県内での収量性や果実品質は明らかでない。

そこで、優良品種を普及させるため、苗木が入手可能なラズベリー10品種を導入し、本県への適応性を明らかにする。

[技術の内容・特徴]

1. 夏果用の品種として「ヒンボートップ」・「スキーナトップ」・「チルコチン」の3品種を選抜した。

「ヒンボートップ」は平均果重が3g以上と大果で、1結果枝当たり収量も400g程度が期待でき、7月10日前後に収穫盛期となる。「チルコチン」は平均果重は2.5g前後とやや小さいが、1結果枝当たり収量が300g以上と多く、7月20日頃に収穫盛期となる。「スキーナトップ」は、平均果重2～3gで、1結果枝当たり収量は300g程度が期待でき、7月10日頃に収穫盛期となる（表1）。

なお、収穫期間はいずれの品種も7月初旬から8月初旬の約1か月で（表1）、果実品質は、食味に大きな品種間差はないが、「ヒンボートップ」の糖度は他の2品種よりやや低い（表2）。

2. 秋果用の品種として「ヒンボートップ」・「ヘリテージ」の2品種を選抜した。

「ヒンボートップ」は平均果重が2～3gと大果で、安定して結実が得られ、収量も多い。また、他の2季成り品種より収穫期が早く8月下旬に収穫盛期となる。「ヘリテージ」は、平均果重1.5g前後と小さいが、安定して結実が得られ、9月中～下旬に収穫盛期となる（表3）。

また、両品種とも果肉の硬さは中程度で軟化しにくい（表4）。

[成果の活用上の留意点]

1. 灰色かび病防止のため、雨除け栽培が望ましい。
2. 「ヒンボートップ」および「スキーナトップ」の苗木は株式会社天香園で販売している。
3. 「チルコチン」および「ヘリテージ」の苗木は市販されていないため、あきたキイチゴ利活用研究会（連絡先：秋田県立大学地域連携・研究推進センター内キイチゴ支援プロジェクト電話：018-872-1557）に加入し、苗木を購入する。

[具体的なデータ等]

表 1 夏果の収穫期及び 1 樹当たり収量、平均果重（平成24～26年）

品 種 名	調査 年次	収穫始 (月/日)	収穫盛 (月/日)	収穫終 (月/日)	収 量		平均果重 ^z (g)
					(g/樹)	(g/結果母枝)	
ヒンボートップ	H24	7/ 3	7/ 9	8/ 1	872	—	3.7
	H25	7/ 4	7/ 8	8/ 2	592	131.5	3.5
	H26	6/20	7/22	8/12	1,811	402.4	3.1
チルコチン	H24	7/ 5	7/17	8/ 6	4,766	476.6	2.5
	H25	7/ 5	7/16	8/ 2	1663	311.8	2.8
	H26	7/ 1	7/22	9/20	1,813	—	2.2
スキーナトップ	H24	7/ 3	7/12	8/ 3	2,783	—	3.1
	H25	7/ 5	7/11	7/29	1,712	274.0	2.3
	H26	6/28	7/11	7/28	786	142.8	2.3

z 収穫期間を通しての総収量／収穫果数

表 2 夏果の果実品質（平成26年）

品 種 名	収穫日 (月/日)	果実重 (g)	糖度 (%)	pH	肉質 ^z	果汁 ^y	甘酸 ^x	香気 ^y
ヒンボートップ	7/17	3.0	10.3	2.8	中	中	やや酸	中
チルコチン	7/17	2.6	11.3	2.7	中	中	中	中
スキーナトップ	7/17	2.8	9.9	2.8	中	中	中	や多

z 果肉の粗密を「軟」「やや軟」「中」「やや硬」「硬」の 5 段階で評価

y 果汁または香気の多少を「多」「やや多」「中」「やや少」「少」の 5 段階で評価

x 食味を「甘」「やや甘」「中」「やや酸」「酸」の 5 段階で評価

表 3 秋果の収穫期及び 1 樹当たり収量、平均果重（平成24～26年）

品 種 名	調査 年次	収穫始 (月/日)	収穫盛 (月/日)	収穫終 (月/日)	収 量 (g/樹)	平均果重 ^z (g)
ヒンボートップ	H24	8/20	8/20	11/26	563	2.3
	H25	8/ 6	— ^y	—	(568)	(3.1)
	H26	7/22	8/28	10/30	1,804	2.2
ヘリテージ	H24	8/23	9/10	11/26	701	1.2
	H25	8/26	9/20	11/ 5	1,138	1.6
	H26	8/28	10/ 2	10/30	524	1.4
スキーナトップ	H24	9/20	10/ 9	11/16	138	3.1
	H25	9/27	10/ 1	11/ 5	379	2.3
	H26	—	—	—	0	—

z 表 1 に同じ

y 平成25年は他試験に樹体を供試したため、9 月以降の収量データ無し（樹単位の収量、平均果重は 8 月 6 日から 9 月 2 日までの結果から算出した）

表 4 秋果の果実品質（平成23年）

品 種 名	収穫日 (月/日)	果実重 (g)	肉質 ^z	糖度 (%)	pH	香気 ^y
ヒンボートップ	10/13	3.5	中	11.0	2.9	中
ヘリテージ	10/11	2.2	中	9.0	2.9	やや少

z 果肉の粗密を「軟」「やや軟」「中」「やや硬」「硬」の 5 段階で評価

y 香気の多少を「少」「やや少」「中」「やや多」「多」の 5 段階で評価

[発表論文等]

なし